

7月の行事・学習予定表

日	曜	公民館・その他	教室・サークル
1	月		稲扇
2	火		拳、テニス、ラージ、体操、ハンドメイド、稲卓球
3	水		拳、吟詠、パソコン
4	木		囲碁
5	金	地)アロマ	カラオケ、論語、健康体操、稲卓球
6	土	ぼけっとの会	おなか・ゆがみ、生け花
7	日		稲卓球、書道
8	月		稲扇、踊ろう会
9	火	社)食事サービス	拳、テニス、ラージ、体操、しゃんしゃん、民踊、稲卓球
10	水		拳、吟詠、パソコン
11	木		囲碁、踊ろう会
12	金		カラオケ、健康体操、稲卓球
13	土		おなか・ゆがみ、社交
14	日		稲卓球
15	月	海の日	稲扇
16	火		拳、テニス、ラージ、体操、ハンドメイド、稲卓球
17	水		拳、吟詠、パソコン
18	木		囲碁
19	金		カラオケ、論語、健康体操、稲卓球
20	土		おなか・ゆがみ、生け花、社交
21	日		稲卓球、書道
22	月		稲扇
23	火		拳、テニス、ラージ、体操、しゃんしゃん、民踊、稲卓球
24	水		拳、吟詠、パソコン
25	木		囲碁、踊ろう会
26	金	子)ガラスアート	カラオケ、健康体操、稲卓球
27	土		おなか・ゆがみ
28	日		稲卓球
29	月	食育)伝達講習	稲扇
30	火		
31	水		拳、吟詠、パソコン

※予定は変更になることがあります

今月の食事サービスは7月9日(火)です。
 【調理】立6西、卯垣
 【配達】立4、新滝山
 の方々にお世話になります。

7月いなば山

【ホムラジ】http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/inaba-1
 【メール】cc-inabayama@it.city.tottori.tottori.jp

稲葉山地区公民館
 鳥取市卯垣5-57
 TEL 24-2542
 FAX 24-2546
 令和元年7月1日発行
 第528号

地域の仲間づくり事業 夏を乗り切るアロマのちから

【日時】7月5日(金) 13:30~15:00頃 【場所】稲葉山地区公民館
 【講師】aromatherapy room mellow 主催
 英国 IFA 認定アロマセラピスト・看護師・リンパ浮腫療法士等
 宇田川 美嘉さん
 【参加費】200円(当日集金) 【持ち物】特になし

募集締め切りしました

子どもと大人のふれあい事業 夏休みガラスアート教室

【日時】7月26日(金) 13:30~15:30頃 【場所】稲葉山地区公民館
 【講師】ガラスアートアトリエ Dollie 関 みどりさん
 【内容】ガラスの器に鳥の絵をつけ、好きな色で仕上げます。
 【対象】小学1年生から受付可
 【参加費】子ども300円、大人500円(当日集金)
 【定員】15名 ※定員になり次第締め切ります
 【持ち物】特になし



作品は全て同じデザインとなります。この部分を好きな色で仕上げます

食育推進委員会 伝達講習 作って楽しい 食べておいしい

【日時】7月29日(月) 10:00~13:00頃 【場所】稲葉山地区公民館調理室
 【講師】稲葉山地区食育推進委員会の皆さん
 【メニュー】元気どんぶり、ワンタンスープ、牛乳かん
 【対象】小学3年生から受付。小学1、2年生は保護者の付き添いがあれば受付可。
 【参加費】100円 【定員】12名 ※定員になり次第締め切ります
 【持ち物】エプロン、三角巾、手拭きタオル

子どもと大人のふれあい事業 勾玉×組みひもストラップづくり



【日時】8月8日(木) 10:00~12:00頃
 【場所】稲葉山地区公民館
 【講師】鳥取県埋蔵文化財センター 大川 泰広さん
 【内容】毛糸で組みひもと、石を削って勾玉を作ります。
 ※勾玉をツルピカにするには、終了後、家からの仕上げが必要な場合があります。
 【対象】小学1年生から受付可 【参加費】無料
 【定員】15名 ※定員になり次第締め切ります
 【持ち物】手拭きタオル 【服装】汚れてもよい服装

★申込みは稲葉山地区公民館(TEL24-2542)まで

ぼけっとの会

7月6日(土) 10:30~11:30 終了予定
 稲葉山地区公民館会議室
 ★七夕会★
 ・絵本とお話 ・短冊作り
 短冊に願いを込めて七夕飾りを作しましょう!
 たくさんのお友だちを待っています。

鳥取県夏の交通安全県民運動

7月11日(木)~7月20日(土)

また、8月中は
 飲酒運転根絶!
 意識改革推進運動期間
 です

地区子ども会傘踊り練習

7月5日(金)
 7月12日(金)
 7月19日(金)
 7月26日(金)
 8月2日(金)

19:00~20:30
 稲葉山体育館

★鳥取しゃんしゃん祭一斉傘踊り★
 8月14日(水) 第2部 18:30~21:00
 に出演します

なぜなぜコーナー

①「タコ」はあるが、「ダニ」はない。
 「チキン」はあるが、「無謀」はない。
 「ハヤシ」はあるが、「モリ」はない。
 「シャワー」はあるが、「湯船」はない。
 一体何があるのでしょうか?

②1本のヒモの両はじをそれぞれの手でつかみ、どちらの手もはなさずに結び目を作るにはどうすればいいだろう?

③表だけのカードですることとは?

★★★ 6月号の答え ★★★
 ①オンド(温度・音頭)が肝要です
 ②ハシ(端・箸)がありません ③にくまん

6/4 (地域の仲間づくり事業)
初夏の寄せ植え教室

この時季恒例の事業です。
暑さに強い植物で、秋まで楽しむ寄せ植えを作りました。



6/20 (地域の仲間づくり事業)
ヘルシーロールケーキづくり

管理栄養士の方を講師に迎え、健康に配慮したロールケーキを習いました。豆腐を使った生クリームで、ポリフェノールたっぷりの「赤じそとブルーベリー」のロールケーキを作りました。



生地に赤紫蘇ジュースを混ぜ込んでいます
余った卵黄を使ってアイスも作りました



第35回稲葉山地区ふれあい大運動会を終えて

稲葉山地区まちづくり協議会 会長 新 潤一

5月26日(日) 猛暑の中稲葉山地区大運動会が開催されました。熱中症・光化学スモッグの発生を心配しながら、また、時間短縮しながら競技を進めてまいりました。最終的に約30分程度の時間短縮ができました。

時間短縮が出来たのはスタッフの皆様の尽力によるものと思います。おかげさまで大きな怪我も熱中症もなく無事運動会が終える事が出来ました。地域の皆様・各関係者の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



総合	町区別対抗リレー
1位 立川5丁目1区	1位 立川5丁目1区
2位 新滝山	2位 新滝山
3位 滝山越塚	3位 立川3丁目

運動会の写真は公民館ホームページに掲載していますのでご覧ください。
※写真は広報と公民館ホームページ以外に使用することはありません

『館長のなんたらかんだらコーナー』63 ～「孤立と分断」から「連帯と共生」へ～

★6/7 ハワイアロハホールで第42回緑陰大学に参加した。稲葉山地区からは民生児童委員会、社会福祉協議会合わせて14名が参加。「長期化するひきこもる人の家族への支援」「児童虐待の解消に向けた子育て家庭への支援～地域で支える人づくり・まちづくりの可能性～」という2つの講演があった。講師は日本福祉大学名誉教授 竹中哲夫氏と淑徳大学教授 柏女霊峰氏。お二人とも地は異なるが児童相談所からスタート。「ひきこもり」「子ども福祉」と専門のテーマも少し違うがこの道に54年、45年とほぼ半世紀にわたり取り組んで来られた。最近に関連する事件報道・特集記事などマスコミでの取り扱いも多いが、実際に福祉担当者として関わって来られた方のお話なので聴く方としては重たさを感じる。面倒なことに真摯に取り組んでおられるのが伝わり頭が下がる思い。事務局からの70頁の資料には各頁びっしりと文字が並んでいる。1頁だけで30分は話せそうな内容。一人80分での持ち時間で熱心に伝える。残念ながら竹中さんの話は途中睡魔に襲われてしまいすみませんでした。

★内閣府調査によると引きこもりは100万人を超えると推計、40代以上が5割を超える。引きこもり期間も長期化、10年以上は5割超。男女比では3/4が男性。平均寿命の差と同じ「家事・おしゃべり」の差が出てるのはと勝手に考える。柏女霊峰さんの子育ての話の前段、「公共」という言葉で社会の状況を説明。「共」の部分、すなわち隣・近所・町内・地域の支え合いがやせ細り、「公」が様々な制度を作る。制度は切れ目が出る宿命。制度から漏れる、制度にアクセス出来ない人々を生み出す。「公」が肥大化すれば「共」はしぼみ、義務を放棄、「公」に責任を押し付ける。「孤立と分断」の社会になってしまった。引きこもりや事件が起こらないと表面化しない児童虐待も結構身近な所に存在しているのだろう。今さら昔には戻れないが新たな「連帯と共生」の社会への移行が必要と柏女さんは説く。6/19 改正児童福祉法成立。